

## 人間関係づくりにおける教育相談 担当の役割

名城大学 曾山和彦  
2009 5.20、27、28

1

## 教育相談担当者とは

児童生徒の気持ちを受け入れ、理解する人

児童生徒の姿を校内に伝える人

\* 上記の「児童生徒」の文言を「保護者」に代えた役割をもつ場合もあり。

2

## 教育相談の大前提

相談者はよい変化に必要な「能力」を持っている

よい変化の方向は相談者自身が知っている

教育相談は「ヘルプ」ではなく「サポート」

3

## 教育相談の原理

なおそうとするな、わかってせよ

言葉じりをつかまえるな、感情をつかめ

4

## 覚えておきたい基本技法

**受容**; あの人が頷くだけで出る勇氣

**繰り返**; 枝葉を落とし、幹の部分の繰り返す

**明確化**; 相手の気持ちを察する

**支持**; 「よくぞ言ってくれた」という言葉を

**質問**; 「よくぞ尋ねてくれた」という質問を

5

## 基本技法プラスα; 非言語的表現

- 視線
- 表情
- ジェスチャー
- 声の質・量
- 座り方
- 言葉づかい
- 熱意
- 間
- 容姿・姿勢・服装

6

## インタビュー面接にしたい ジョイニング

基本技法を組み合わせ、相手の価値観等に  
波長を合わせる

そんなに落ち込まない  
で、ポジティブに考え  
よう！

失敗例

そう思えたら相談  
に来てないわよ



ジョイニング失敗

7

## 児童生徒理解・支援に使える ブリーフセラピー；リソース探し

A君のいいところは と  
「いつでもどこでも、リソース、リソース」と  
呪文のように唱える



児童生徒のリソースを心に貯めておく

演習；「気になる子のリソース探し」

8

## 児童生徒理解・支援に使える ブリーフセラピー；例外探し

うまくやっていること(例外)はきっとある！

教室抜け出しに  
困っている(問題)



音楽の時間は抜け  
出さない(例外)

例外の責任追及  
なぜ、例外が起きたのかを心に貯めておく  
演習；「気になる子の例外探し」

9

## 児童生徒理解・支援に使える ブリーフセラピー；スケーリングQ

学校に元気に通えていた時期を10点とすると  
今は何点くらい？

3点くらいかなぁ

0点ではなくて3点という、その3点分は  
いったい何？

10

## 児童生徒支援に使える ブリーフセラピー；サバイバルQ

今まで大変なことばかりだった  
もう何をしてもダメだ

大変な中で、よく頑張ってきたね

11

## 教育相談失敗例

先生、私はどうしたらいいの？



助言1：「とにかく前向きに考えよう」  
(それができれば相談に来ないわよ)

助言2：「           してみてください」で悩み解決  
(次も困ったら先生に助けてもらえるわ)

助言3：「           してみてください」で悩み未解決  
(先生のくせに何の役にも立たないわ)

12

## 児童生徒対応;「話の聴き方」

- 基本技法を用いて「傾聴」  
「あの人がうなずくだけで出る勇氣」
- 正論をぶつけない～「でもね」に注意～  
「わかっているけど、あなたに言われたくない」
- 一緒に漂ってみる  
「どうしたらいいかなあ」
- チェック! 「その時間に話していたのは誰か？」

13

## かかわり不足の子どもたち

- 環境の変化
- 情報化、スピード化
  - 三間(時間、空間、仲間)の消失
  - 核家族化 等

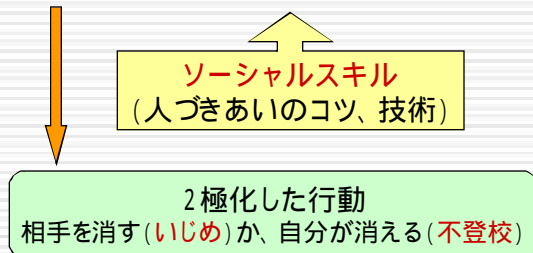
昔に比べ、人とのかかわり不足の子どもたち

子どもに限らず、大人も

14

## 人とのかかわり不足が生む問題1

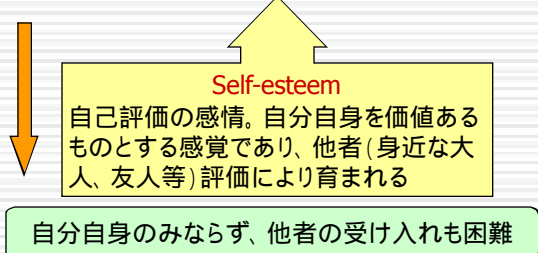
- 子どもたちの社会性が弱まっている



15

## 人とのかかわり不足が生む問題2

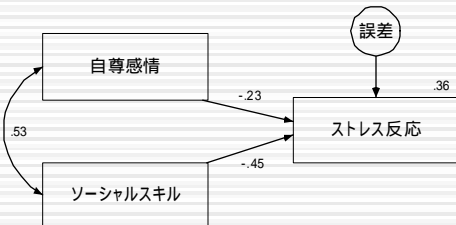
- 子どもたちの自尊心が低下している



16

参考

## 児童の適応感に影響を及ぼす要因



5・6年児童(194名)。自尊心とソーシャルスキルでストレス反応の36%を説明できる。特に、**ソーシャルスキルの影響**が大きい。

17

## 現代の子ども像と支援の基本方策

「ソーシャルスキル」、「自尊心」が落ち込んでいるのではないか

「人は人の中で人になる」  
～人はかかわりの中で癒され、育つ～

対人関係のコツ(技)を身につけ、自分に「OK!」  
と言えるよう、グループ体験等を活用する

よりよい「かかわりの力」が育まれる

18

## 「かかわりの力」を育むための土壌づくり

「かかわりの糸」がたくさん張られている、  
あるいは、太くなっている土壌をつくる

「土おこし」のエクササイズ

・アドジャントーク ソーシャルスキルの向上も狙える

19

## ソーシャルスキルを育む 3つのアプローチ

ターゲットスキル; 話の聴き方、あたたかい言葉がけ

1. うまくスキルが**使えない**時を見逃さない  
(対応; 対決アイメッセージ、確認の質問など)
2. うまくスキルが**使えている**時を見逃さない  
(対応; 褒める、勇気づける、認める)
3. **楽しい**ゲーム、ロールプレイの工夫  
(そうですねゲーム、ロールプレイ、他)

20

## 演習; 私のお願い聞いて(初級編)

状況; クレヨンや消しゴム、ノート等を借りる

- A お願いする
- B 理由をつけて一度断る
- A 再度お願いする(理由をクリアする代案で)
- B 了承する
- A ありがとう、助かった、等

\* ターゲットスキル; 相手にも配慮した自己主張

## 自尊感情を育む 3つのアプローチ

1. **いいところ探し**; 「A君のいいところは だね」
2. **リフレーミング**; 「短所は飽きっぽいところ」  
「それは という長所でもあるよ」
3. **勇気づけ**; 「ありがとう」、「うれしい」、「助かった」

失敗しても自尊心、所属感を失わない態度

実は、同僚・保護者も元気になる魔法の言葉がけ

## 最後に！！ 誰もが元気になる魔法シート

演習; いいところ四面鏡

1. シートに自分の名前、メンバーの名前を記入する
2. グループ内でシートを回す(交換する)
3. 自分の名前の欄に、その人のいいところだと思う場所に を3個つける。
4. メンバー全員交換し、書き終えたら自分のシートを見る
5. どうしてその項目に をつけたのか、お互いに伝える

シート交換時の「お願いします」のスキルも大切に！

## まとめ; 教育相談担当の役割

- ・個々の児童生徒の気持ちの受け止め、理解に努める
- ・個々の児童生徒の姿を全校に伝える
- ・児童生徒の「かかわりの力」育む支援が進むよう、校内コーディネート(連絡・調整)を行う

カウンセリング理論、エンカウンター等の技法を学ぶのもよい。外部講師から助言等をもらうこともよい

担当としての腕の見せどころ

24

## 参考文献

- 気になる子への対応術、会沢信彦・曾山和彦、教育開発研究所
- 先生のためのやさしいブリーフセラピー、森俊夫、ほんの森出版

25

参考

## 発達障害とは；特徴及び主な障害

- 先天的
  - 症状が発達期(乳幼児期に多い)に出現
  - 生涯に渡る
- 基本的には、脳の機能的な問題が原因とされる

精神遅滞；認知の側面

脳性麻痺、筋ジストロフィーなど；運動の側面

発達性協調運動障害；手先の細かな動きの側面

LD、ADHD、高機能PDD

いわゆる軽度発達障害

通常学級で彼ら自身「困っている子どもたち」

参考

## (軽度)発達障害の子どもたち

LD・ADHD・高機能自閉症等の発達障害のある子どもたちが小・中学校の通常学級には6.3%在籍する

どうい  
う子  
ども？

知的遅れがない  
IQ70以上

「軽度」と言われる所以

特異な困難を示す

27

参考

## 発達障害児の個別支援を 考える際の「二つの声」；障害理解

うまく指導してもらえなくてもいい。  
でも、子どものことは理解してほしい  
(ある保護者の声)

教育を行う者が、教育を行う子どもについて  
無知のまま教壇に立つことは、子どもに失礼  
極まりないことである(2003・杉山)

自閉症者の自伝がそのヒントになる

テンブル・グランディン、ドナ・ウィリアムズ

28

参考

## LD(学習障害)

聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する、の中で、特異な困難がある <教育的LD> disabilities = 困難さ

言語性LD；言語理解、表出、読み、書きの困難  
非言語性LD；空間、身体像、社会的知覚の困難

チェックポイント～スキップ、フォークダンス、縄跳びの困難

読み・書き・計算の障害 <医学的LD> disorders = 機能不全

ディスレクシア

29

参考

## ADHD(注意欠陥/多動性障害)

「不注意」、「多動性」、「衝動性」の三つの問題が見られる  
セルフコントロールの発達障害

前頭葉の活動が不活発  
(ドーパミンなどの神経伝達物質の量、働き!?)

実行機能障害、ワーキングメモリーの障害とも言われる

活性作用のある刺激剤  
メチルフェニデート

教室で、特に  
気になる子ども

リタリン コンサータ(日本初の治療薬)

**参考**

## PDD (広汎性発達障害)

---

- ・三つ組(社会性, コミュニケーション, 想像力)の障害を有する
- ・「自閉症スペクトラム」と同義
- ・以下の5つのPDDがある

- ・自閉性障害 (\*この中で知的な遅れを伴わないものを, 「高機能自閉症」という)
- ・レット障害
- ・小児期崩壊性障害
- ・アスペルガー障害
- ・特定不能PDD (\*非定型自閉症と同義)

上記の中で, 高機能自閉症, アスペルガー障害, 知的な遅れを伴わない非定型自閉症を「高機能PDD」という

31

**参考**

## 対象児童生徒への支援 ～個々の障害理解をもとに2次障害予防～

---

家庭や学校における日常的な注意, 叱責は, 子どものセルフエスティーム(自尊感情)を大きく下げる

どうせ, 私は何を やってもダメなんだ

そんなことは ないよ

教師の腕の見せどころ

32

**参考**

## LDへの基本対応

---

例, 読みの困難がある場合

- ・教科書を120%に拡大する
- ・文章の文節ごとに区切りをつける
- ・本人に文節ごとに で囲ませる

ゆっくり, 正しく読めるようになった

教科支援の基本, 該当学年より2～3学年下げた内容を!

33

**参考**

## ADHDへの基本対応

---

脳の実行機能に弱さがあるため, 自らの動機付けが困難故に, 報酬(ご褒美)で行動をコントロールすることが基本

改善目標を一つ決め, 達成したらシールやスタンプの報酬等

「パソコン」というリソースで別人のように変わったB君

主な配慮事項

- ・注意や叱責の何倍もの賞讃を
- ・できていること, できそうなことを賞讃する
- ・賞讃, 叱責は直後に明確に
- ・指示は必ず復唱させる
- ・クールダウンの場を設ける 等

34

**参考**

## PDDへの基本対応

---

視覚的な工夫

一度に一つ

予定の伝達

肯定的表現

文化に寄り添う

35

**参考**

## 学級集団における支援 ～周囲の子どもと共に育てる～

---

ADHDの疑いのある小4男児。  
暴言等による他児とのトラブルが頻発

<1年間の指導を終えた担任の声>  
学級全体に対するソーシャルスキルトレーニング等により, 周りの子どもが育ったら, 対象児童とのトラブルが減った。

参考; 親野智可等氏のハンカチの話

36